



グリーンファイナンス

---

# ESG関連資金調達の取組み



■ はじめに

主な取り組み

## **グリーンファイナンスの取り組みについて**

**NTTグループの「成長」と「社会課題の解決」を同時に進め、  
2040年、カーボンニュートラルを実現させる。  
その大きな目標を達成するためには、膨大な投資が必要になります。**

**ファイナンス面からリードする  
それが私たちNTTファイナンスです。**

# ! グリーンファイナンスの取り組み (FY2020-FY2021)

NTTファイナンス実施:

2020年6月

NTTグループ初のグリーンボンド発行

～対象プロジェクトはグリーンビルディング～

2021年9月

新環境エネルギービジョン公表

～グリーンボンド発行も主な取り組みの1つ。国内外の市場を活用。発行を通じグローバルでビジョンをPR～

2021年9月

新フレームワーク策定

～継続発行を行いやすくするため、対象グリーンプロジェクトを拡大～

- (旧フレームワーク) データセンタ、グリーンビルディング、再生可能エネルギー
- (新フレームワーク) 旧3カテゴリーに加え、5G関連投資、FTTH関連投資、IOWN構想の実現に向けた研究開発を追加

2021年10月

2回目：NTTグループグリーンボンド総額3,000億円を発行（国内債では2回目）

2021年12月

3回目：NTTグループグリーンボンド総額15億ユーロ（約1,920億円）を発行

# ! グリーンファイナンスの取り組み (FY2022)

NTTファイナンス実施:

2022年6月

ローンも活用可能な新たなフレームワーク策定

～NTTグループグリーンファイナンスフレームワーク～

2022年7月

4回目：NTTグループグリーンbond総額15億米ドル（約2,100億円）を発行

2022年8月

初のグリーンローン総額1,000億円を組成

～農林中央金庫750億円・みずほ銀行250億円～

2023年3月

国内最大規模となるグリーンシンジケートローンおよびグリーンローン総額3,600億円を組成

# ! グリーンファイナンスの取り組み (FY2023)

NTTファイナンス実施:

■ 2023年5月  
新中期経営戦略を公表

■ 2023年7月  
5回目：NTTグループグリーンbond総額3,800億円を発行（国内債では3回目）

■ 2023年11月  
6回目：NTTグループグリーンbond総額2,200億円を発行（国内債では4回目）

# ! グリーンファイナンス フレームワークを活用した 資金調達実績 (約1.8兆円)

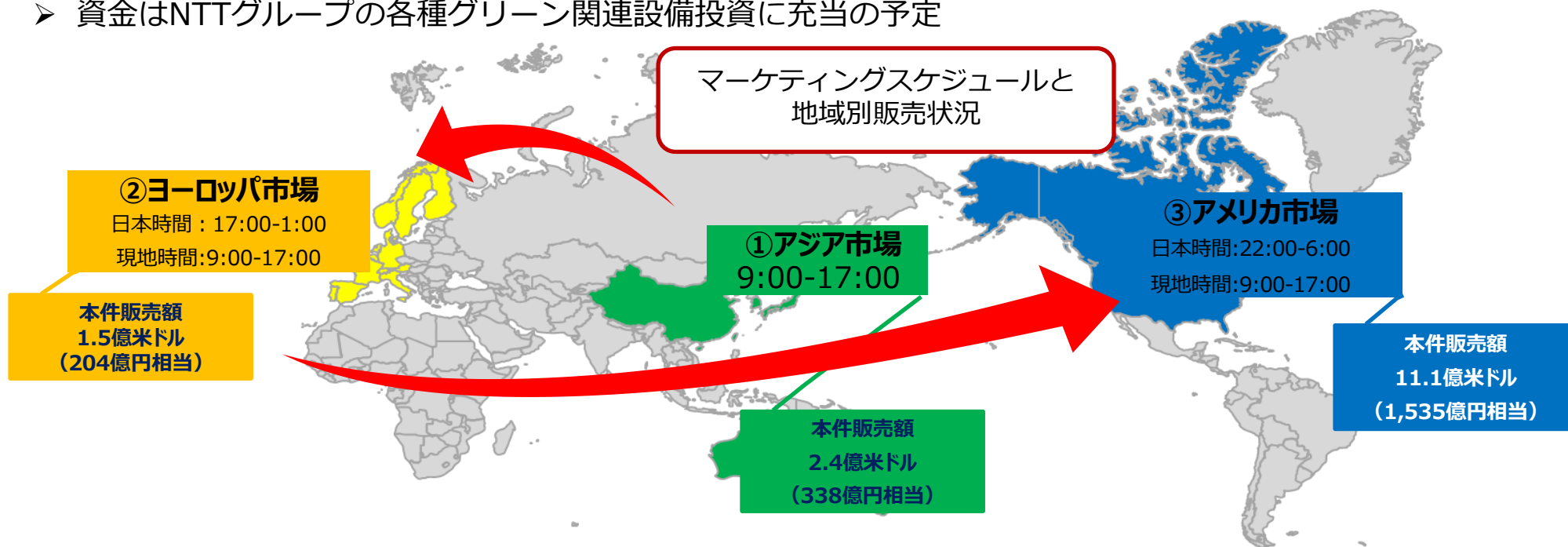
調達時期	種別	借入先	通貨	金額	資金用途
2020年6月	社債 (グリーンボンド)	-	円	400億円	グリーンビルディング
2021年10月	社債 (グリーンボンド)	-	円	3,000億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5G関連投資</li> <li>・FTTH関連投資</li> <li>・IOWN構想の実現に向けた研究開発</li> <li>・再生可能エネルギープロジェクト</li> </ul>
2021年12月	社債 (グリーンボンド)	-	ユーロ	15億ユーロ (約1,920億円)	
2022年7月	社債 (グリーンボンド) ※ 8 ページ参照	-	米ドル	15億米ドル (約2,100億円)	
2022年8月	借入 (グリーンローン)	農林中央金庫	円	750億円	
		みずほ銀行	円	250億円	
2023年3月	借入 (グリーンシンジケートローン)	48行 (三菱がアレンジャー) 新規26行参加	円	1,298億円	
	借入 (グリーンローン)	メガ等9行	円	2,302億円	
2023年7月	社債 (グリーンボンド) ※ 9 ページ参照	-	円	3,800億円	
2023年11月	社債 (グリーンボンド)	-	円	2,200億円	

■ 上記以外に金融機関独自のESG関連実績有り (3,500億円)

# ！ グリーンボンド（グローバル債）の発行

## ■ グローバル債市場

- ▶ 長期資金調達の一環として、グローバル債市場で当社初のドル建てのグリーンボンドを発行
- ▶ 動きの激しいマーケット環境の中、米国を中心に8倍を超える需要を集め、総額2,077億円相当の起債を実現
- ▶ 資金はNTTグループの各種グリーン関連設備投資に充当の予定



※発行時の為替レートで換算（1ドル=138.49円）

発行フォーマット	条件決定日	発行条件（利率）	格付	資金使途
144A / Reg.S (グローバル債)	2022年 7月20日	2年：5億米ドル（4.142%） 3年：5億米ドル（4.239%） 5年：5億米ドル（4.372%）	A1（Moody's）※2 A（S&P）	5G関連投資、FTTH関連投資 等

※2 今年新たにMoody'sの格付け「A1」を取得（A1は持株会社と同ランク）



# 国内事業会社のSDGs債、過去最大規模を実現

昨年度対比で起債環境の改善がみられる中、2023年7月、国内外の起債環境・金利動向を見極めたうえで本邦企業過去最大のグリーンボンド、かつ今年度最大の社債発行を実現！

## 発行額

- 今次債は、“総額3,000億円の安定調達”と“最適な発行水準の最大限の追求”の両立を展望する起債運営を実施する中、総額3,000億円からの追加コスト(発行水準の+α)を負担することなく、投資家の期待に応える形で、**総額3,800億円まで増額**
  - **最終需要は総額4,537億円**
- 今次債の発行総額3,800億円は、**本邦SDGs債\*で過去最大規模**
  - 本邦過去最大の発行規模を強調するベンダー記事が多数。  
Bloomberg記事では、“アジア最大”との見出し

- ご参考／国内事業会社SDGs債1起債あたりの発行額最上位5銘柄

No.	条件決定日	発行体名	種別	発行総額
1	2023/7/14	NTTファイナンス	グリーン	3,800億円
2	2021/10/22	NTTファイナンス	グリーン	3,000億円
3	2023/1/20	日産自動車	サステナビリティ	2,000億円
4	2021/3/12	トヨタ自動車	サステナビリティ	1,300億円
5	2023/5/31	三井不動産	グリーン	1,300億円

## 投資表明獲得件数

- 今次債の投資表明獲得件数は1起債あたりの歴代首位「**195件**」を獲得
  - 「195件」は、今次債参画投資家数(285件)の約68.4%
  - 今次債の投資表明先の内訳

都銀等	系統上部	中央公的	生保	損保	信託銀行	投信投顧	中央計
1件	1件	3件	5件	4件	0件	10件	24件
地銀	系統下部	地方公的	諸法人	地方計	合計		
13件	139件	1件	18件	171件	195件		

- ご参考／1起債あたりのSDGs債投資表明件数Top10(事業債)

No.	条件決定日	発行体名	最高利率	トランシェ	発行額	件数
1	2023/7/14	NTTファイナンス	0.838%	4	3,800	195
2	2022/6/9	ENEOS HD	1.336%	2	1,000	171
2	2022/7/6	日本電気	0.749%	3	1,100	171
4	2021/10/22	NTTファイナンス	0.270%	3	3,000	163
5	2020/10/13	森ビル HYB	1.170%	1	450	111

**発行額：総額3,800億円は国内事業会社のSDGs債、過去最大規模（前回債の3,000億円を上回る）**  
**投資表明件数：195件を獲得し1起債あたりで歴代1位を獲得（前回債の163件を上回る）**

## 参考

メディア記事

# ！メディア記事 (日経新聞/Bloomberg)

**日経新聞**  
2021年10月5日  
（火曜日）

## NTT、環境債300億円

### 国内最大再生エネ設備を整備

NTTは環境に配慮した事業に資金使途を限る「グリーンボンド（環境債）」を新たに発行する方針を決めた。発行額は約3000億円で、事業会社による一度の発行額では国内最大とみられる。NTTは2040年度までに温暖化ガスの排出量を事実上ゼロにする目標を公表したばかりで、再生可能エネルギーの発電設備などへの投資を積み増す計画だ。目標達成に向けた原資に調達資金を充てる。

ESG（環境・社会・企業統治）を重視する機関投資家の拡大を背景に、事業会社による環境債発行へのニーズが高まっている。NTTはグループで20年にも400億円の環境債を発行しており、今回、大幅に発行額を積み増す。5日午後に発表する。

償還期限が3年、5年、10年の3本の環境債を発行し、発行額は約3000億円となる見通しだ。発行金利など詳細は近く決めることとみられる。主幹事は野村証券やみずほ証券などが務める。調達資金で「脱炭素」に向けた取り組みを加速する。太陽光発電、風力発電などへの投資に資金を振り向け、自社グループで再生エネ発電の供給網を整備する。NTTは30年度までの10年間で再生エネ設備に総額約4500億円を投資する計画を打ち出している。30年度までに、自社グループの利用電力における再生エネ比率を80%とする目標で、その半分を自前の設備で賄うとしている。30年度までに傘下のNTTドコモが手がける携帯通信事業に加え、グループのデータセンター事業での温暖化ガス排出量を事実上ゼロとする目標だ。消費電力を削減できる独自の光技術の導入も進め、40年度までにはグループ全体の排出量をゼロとする目標を掲げる。今回、こじつた脱炭素の取り組みを進めるにあたり、環境債による大型の資金調達に踏み切る。

脱炭素へのニーズが高まるなか、幅広い産業で環境債の発行が増えている。ヤフーを傘下に持つZホールディングス（HD）も7月に環境債を発行すると発表した。発行額は200億円だった。日本電産は19年11月に1000億円の大規模発行に踏み切っている。

BLOOMBERG JAPANESE NEWS (IN JAPANESE)

Oct 22, 2021 16:11:26

**【起債評価】NTTが世界最大規模の環境債、ESG債拡大に弾みへ**

- ESG債では国内最大、最終需要は9000億円に迫り発行額の約3倍に
- 世界に遅れる日本の「起債剤になることを期待」 - みずほ証券 香月氏

【記者：森田理恵】

（ブルームバーグ）：NTTが22日、グリーンボンド（環境債）を起債した。発行総額は3000億円と国内ESG（環境、社会、企業統治）債として過去最大で、事業会社が一度に起債する環境債としては世界で最大規模。まだ存在感の小さい日本のESG債市場の拡大に弾みがつくと期待する声も出ている。

金融子会社のNTTファイナンスを通じて起債した。年限3年と5年、10年の3本立てで、各1000億円を発行する。ブルームバーグのデータによると、国内発行のESG債では今年8月の西日本高速道路のソーシャルボンド（社会貢献債、総額1500億円）を上回り過去最大。NTTは昨年12月に普通社債で国内最大の総額1兆円を起債したのに続き、ESG債でも大型起債に踏み切った。

NTTは9月に新たな環境エネルギービジョンを発表し、2040年度に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指す方針を示した。同社広報室の荒巻優三氏は「グリーンボンドもビジョンの主な取り組みの一つ」だとし、発行により有利な資金調達を目指すとともに環境への取り組みを強化していくと説明した。

これまでにない大型ESG債に対する投資家の関心は高い。主幹事によると3本合計で9000億円近い需要を集めた。金利上昇で利率水準の評価が難しくなるタイミングではあったが、日本格付研究所（JCR）で日本国債と同じ「AAA」格の環境債を購入できる機会が重視され、いずれの年限も発行利率は当初の需要調査レンジの下限となった。年限別の発行条件と最終需要は以下の通り。

利率	需要調査開始時のレンジ	最終需要倍率
0,001%、価格100,003円	0,001%	
3年 (利回りゼロ%程度)	価格100-100,003円	約3.1倍
5年 0,10%	0,10-0,13%	約3.1倍
10年 0,27%	0,27-0,32%	約2.7倍

NTT Fの発表資料によると、22日時点でアセットマネジメントOneや三菱UFJ国際投信、小糸製作所などから163件の投資表明があった。独立行政法人環境再生保全機構の担当者は、ESG投資を積極的にしていく方針の一環として投資を決めたと話した。

シンボリック

ブルームバーグのデータによると、2021年の円建てESG債の起債額は22日の起債分を含めて計2兆円を超えた。前年同期を2割近く上回り、年末まで2カ月余りを残して20年通年（約2兆1200億円）で最高額更新が視野に入る。

もっともESG債発行は海外では既に大きな流れになっている。ブルームバーグNEFによると、世界での9月末時点の発行額は20年通年を上回る8500億ドル超（約97兆円）。環境債も20年実績を46%上回る。みずほ証券の香月謙伸SDGsプライマリアナリストは、発行額の大きさは資金使途となる「適格プロジェクトが実際に進んでいることの裏返し」とし、「日本は出遅れていると判断されても仕方がない状況だ」と指摘する。



NTTのロゴ



# ! メディア記事 (日経新聞)

日本経済新聞

記事利用について

## NTT、ユーロ建て環境債の条件決定 4年債の年率 0.082%

2021/12/7 17:56 | 日本経済新聞 電子版



NTTはユーロ建て環境債を4年、7年債の2本建てとした

NTTは7日、環境に配慮した事業に資金用途を限定したユーロ建て環境債（グリーンボンド）の発行条件を発表した。総額は15億ユーロ（約1920億円）で、4年、7年債の2本建てとした。利率はそれぞれ年0.082%、0.399%とする。調達資金は再生可能エネルギーや高速通信規格「5G」に投資する。

金融子会社のNTTファイナンスを通じて発行する。払込期日は13日。発行額は4年債で6億5000万ユーロ（約830億円）、7年債は8億5000万ユーロ（約1100億円）とした。NTTは10月に円建てで総額約3000億円の環境債を発行していた。環境債に対する需要は高いと判断し、追加発行する。

NTTは2040年度までに、温暖化ガスの排出量を事実上ゼロにする目標を掲げている。調達資金は再生可能エネルギーの発電設備に投資する。独自の光技術によって省電力化につながる次世代通信網「IOWN（アイオン）」の研究開発にも投じる計画だ。

# ！メディア記事 (日経新聞 / GlobalCapital)

## NTT、環境債2100億円 ドル建てで、5G投資に充当

NTTは21日、環境に配慮した事業に資金使途を限る「グリーン債券（環境債）」をドル建てで計15億ドル（約2100億円）発行すると発表した。同社がドル建ての環境債を出すのは初めて。資金調達手段の多様化や投資家層の拡大を進める。調達した資金は現行規格よりも消費電力が少ない高速通信規格「5G」関連の投資などに充てる。

金融子会社のNTTファイナンスを通じ、27日に発行する。償還期限が2年、3年、5年の3本建てで、利率はそれぞれ4・142%、4・239%、4・372%。主幹事は米モルガン・スタンレーなど8社が務める。ムーディーズから「A1」、S&Pグローバル


から「シングルA」の格付けを取得した。NTTは2040年度に温暖化ガス排出量を実質ゼロとする目標を掲げ、関連投資に環境債を活用している。今回の調達資金は5Gや光回線、データセンターなど消費電力の抑制につながる投資や、再生可能エネルギーの発電設備などに使う。通信や情報処理に使う電力を大幅に減らせる独自の次世代通信網「IOWN（アイオン）」の研究開発にも投じる。

掲載日 2022年7月22日 日本経済新聞 朝刊

GlobalCapital

## Dollar market revives with IBM, Imperial, NTT

David Rothnie July 21, 2022 09:57 PM



### Lack of deals has left investors hungry

The dollar corporate bond market burst back into life this week, with an array of deals for companies coming out of blackouts, including a \$4bn four tranche for IBM on Wednesday.

The tone in the primary market has improved, helped by investors being hungry for new paper after a supply drought as issuers were deterred by higher borrowing costs and fears over inflation.



# ！メディア記事（日経新聞）

## NTT、社債発行3800億円に 今年最大で活況市場を象徴

NTTの金融子会社であるNTTファイナンスは14日、4本立て社債の発行条件を決めた。4本合計の発行額は3800億円と、劣後債を除けば機関投資家向け社債の1回の起債額として今年最大だ。日銀の緩和修正への過度な警戒が和らいだことで市場環境が回復するなか、高めの利率を設定したことで多額の需要を集めた。

環境に配慮した事業に資金用途を限定した環境債（グリーンボンド）として発行する。調達した資金は「再生可能エネルギーの発電設備のほか、（高速通信規格の）5G関連の投資にも充てる」（NTT）。主幹事のみずほ証券によると、合計3800億円の発行額は国内のESG（環境・社会・企業統治）債としては過去最大となる。

大型起債となった要因のひとつは利回りの高さだ。たとえば4本のうち最も年限の長い10年債はスプレッド（国債利回りに対する上乘せ）が0.36%に決まった。格付けが「ダブルAプラス」で同じJR東日本が7日に発行条件を決めた10年債はスプレッドが0.28%だった。



### 利回りは前回債から大きく高まった

年限	23年7月		21年10月	
	金額	利回り	金額	利回り
3年	300億円	0.23%	1000億円	ゼロ%程度
5年	1100	0.395	1000	0.1
7年	500	0.648	---	---
10年	1900	0.838	1000	0.27

NTTファイナンスの10年債に投資した国内生命保険の運用担当者は「格付けの高さを考えるとスプレッドが厚く、投資妙味が強かった」と語る。

国債利回りとスプレッドを足した合計の利回りは0.838%で同社が2021年10月に起債した10年債（0.27%）から大きく高まった。「10年国債の2倍弱の利回りを確保できるのは魅力的だ」（アセットマネジメントOneの加藤晴康ファンドマネジャー）との受け止めも多い。

当初は発行予定額を合計3000億円程度としていたが、1.5倍の需要が集まったことで発行額を積み増した。

このところの社債市場の好調さも追い風になった。日銀が4月の金融政策決定会合で緩和修正を見送り、金利上昇による社債の利回り上昇（価格低下）を警戒する投資家にとっては買い安心感につながった。PGIMジャパンの村田昭仁クレジット・リサーチ部長は今回のNTTファイナンスの起債についても「4月以降で続く市場の活況を映している」と話す。

長期金利の先高観が薄れれば企業も支払金利が見通しやすくなる。6日にはソフトバンクも合計1200億円の発行条件を決めた。アイ・エヌ情報センターによれば、23年1～6月の普通社債の発行額（投資法人含む）は6.7兆円と1998年の同期間（6.9兆円）以来の大きさになった。

もともと、市場では7月の金融政策決定会合で日銀が緩和修正に踏み切るとの警戒感にもわかに高まり始めた。「7月以降でも複数回にわたって修正に踏み切るかどうかは今後の投資家の買い意欲を左右する」（加藤氏）との声も上がる。足元の活況と金融政策を両にらみする起債環境が続く可能性もある。

（吉田貴、宮嶋梓帆）

# ！環境省含む外部団体・組織から7つの受賞 I

## 環境省主催 第3回 環境省ESGファイナンス・アワード・ジャパン (資金調達者部門) の「銅賞」を受賞

2021年10月 国内債3,000億円、12月外債15億ユーロ（1,920億円相当）のグリーンボンドが評価されての受賞  
 情報通信事業では、国内初のグリーンボンド発行事例  
 太陽光を中心とした再生可能エネルギーの導入を進めている点で、実績や通信業界内での新規性を高く評価



## 環境省主催 第4回 環境省ESGファイナンス・アワード・ジャパン (資金調達者部門) の「銅賞」を2年連続で受賞



## 2022年1月16日付の日経ヴェリタスにて発表された「ディール・オブ・ザ・イヤー」の 「機関投資家向け社債 ベスト部門」で、当社が2年連続1位を受賞

2021年10月に発行した3,000億円のグリーンボンドが市場から高く評価されての受賞  
 存在感の小さい国内ESG債市場の拡大に貢献、格付に比べ投資妙味がある

日経ヴェリタス

## 一般社団法人環境金融研究機構が主催するサステナブルファイナンス大賞制度で、 「グリーンボンド賞」を受賞

2021年10月、12月に発行したグリーンボンド（円債・外債）が専門家から高く評価されての受賞



# ！環境省含む外部団体・組織から7つの受賞Ⅱ

## リフィニティブ社主催 IFR AWARDS 2021の「Bond Awards Yen Bond of the Year」を受賞



本アワードは全世界を対象としたアワード

2021年10月 国内債3,000億円のグリーンボンドが評価されての受賞

ESG債の提供を最大化する方法を示し、日本の投資家がセクターをサポートする熱心さを明らかにし、国内市場で最大のグリーンボンドであり、ひとつの発行体によるグリーンボンドの世界最大の一つ

国債利回りが上昇したにもかかわらず、クーポンは2020年12月の1兆円起債（ドコモTOB時）よりも低く調達

2040年度までにカーボンニュートラルの実現を目指すNTTの新たな環境・エネルギービジョンを発表。また、グリーンボンドフレームワークを更新し、グリーンプロジェクトの拡大に成功

当社は、ドコモTOB時に発行した2020年12月国内債1兆円で1回目を受賞し、今回2回目の受賞となる

## リフィニティブ社主催 DEALWATCH AWARDS 2021の「Offshore Bond of the Year」を受賞



本アワードは日本国内発行体を対象としたアワード

2021年12月 ユーロ債15億ユーロが評価されての受賞

発行体にとって海外市場で初めてのグリーンボンドとなった国内債と合わせて総額5,000億円の調達で、発行体が掲げたカーボンニュートラルに向けた取り組みが評価され、不安定な市場環境の中、主要投資家が軒並み出動

## キャピタル・アイ社主催 キャピタル・アイAwards 2021の「BEST DEALS OF 2021」を受賞



2021年10月 円債3,000億円が評価されての受賞

総額3,000億のグリーンボンドは日本のESG債として過去最大であり、世界的にも事業会社としては最大規模。POT方式で透明性を確保しつつ、9,000億円近い需要を286件の投資家から集め、史上最多の163件の投資表明を行った。自身による2020年12月の1兆円ディールに続き、本邦社債市場の活性化に貢献し、その後はユーロ建てでも発行



